



衆議院議員 おおたけりえ



国政レポート vol. 4

〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2

TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

痛みに寄り添う政治の実現を!



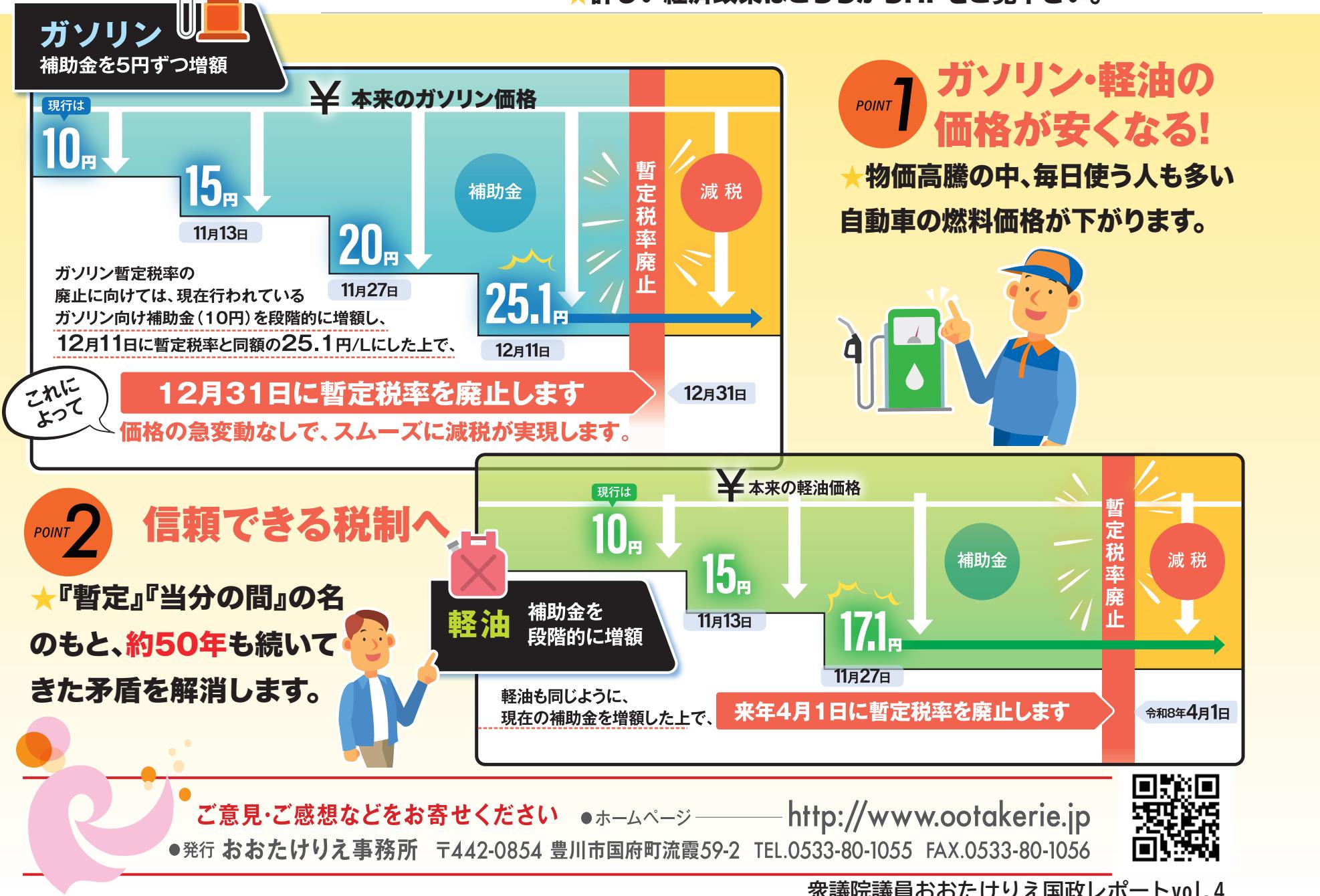
2026年は午年!

お手本を見ながら、そして教えて頂きながら、蒲郡の水墨画展で水墨画体験させて頂きました!

みなさま、いかがお過ごしでしょうか。国会では、臨時国会が先日閉会し、物価高対策となるガソリン減税法案など、野党提案の施策がいくつか実現致しました。食料品をはじめとした物価高は、私たちの生活を直撃しています。今こそ、国民のみなさまの声に耳を傾け、声の大きな団体等を優先する政治から、一般の方々を直視する政治に転換すべきです。今回の補正予算においては、成立はしなかったものの、私たちはこのような想いで「組み替え動議」として予算修正箇所を提案致しました。野党が質の高い提案をすることで、与党にプレッシャーを与え、より良い政策にできると考えます。今後とも、国民のみなさまのお役に立てる活動を目指します。



★詳しい経済政策はこちらからHPをご覧下さい。→



地域の力を応援します!

臨時国会から「農林水産委員会」に所属し活動しております。「食」は人々の健康を支え日々の生活の中心を成す、かけがえのないものです。しかしながら、農業を仕事の中心にしている方の平均年齢は**67.6歳**（農林水産省：2025年農林業センサス）と、一般の給与所得者の平均年齢**47.0歳**（国税庁：2023年）と比べて高齢化がかなり進んでいます。これまでの農政が招いた結果の1つです。今こそ戸別所得保障など、農業をしている方やこれから農業を始めたい方が挑戦し、継続できる仕組みへの**転換**が必要です。補助金等の仕組みを細かく調査してみると、大きな産地に有利で我が地域に不利になっているものも散見されます。農業の大規模化は北海道や九州など広い農地が確保しやすい地域には良いものの、我が地域には必ずしも合致するものとなっておりません。また、食料自給率の向上には生産拡大が必要ですが、資材高騰に苦しんでいるのは農家の方々も同じです。農政を現場の状況に合わせて制度を修正する提案等、14区内の現場ヒアリング等で頂いたお声を大事に提案してまいります！

★詳しい農業政策はこちらからHPをご覧下さい。→



政治改革で「政治と金」に決着を！



今期は「**政治改革特別委員会**」にも配属され、企業・団体献金に関する法案等の審議に入っています。企業・団体献金は利権の温床にもなるため、制限が必要です。正直、こんなに遅々として進まないものかと、まだ新人国會議員の私は驚いている状況です。先の通常国会で**野党6会派**により提出された「**企業・団体献金廃止法案**」は、成立が見込めず。今国会は、公明党と国民民主党が提案した「**企業・団体献金制限法案**」と、自民党が提出した「**企業・団体献金公開強化法案**」が審議されています。「**廃止法案**」を提出した野党6会派が「**制限法案**」に賛成、あるいは一部修正して可決すれば、「**制限法案**」は自民党1党が反対しても賛成多数により可決するはずです。しかし、なかなか委員会が思うように開かれず、かなりの抵抗を感じます。国会には「先入れ・先出し」と言われる先に提出された法案を先に審議するルールがあり、この影響で「**定数削減法案**」の審議も先送りされてしまっています。1月からの通常国会に持ち越されたこの攻防、国会論戦をぜひご注目ください。



★(一社)政策推進機構の政治資金データベースが見られます。↑

土日祝日は多くの方に会いたいので、イベント等に出席しています！

国會議員はみなさまのお声を代弁するのが仕事です。みなさまとの触れ合いが議員を鍛えてくれます。豊川市・蒲郡市・新城市・幸田町・設楽町・東栄町・豊根村の色々な行事に顔を出させて頂き、そのまちの方々のお声を頂いています。「おおたけりえ」を見かけましたら、お声をかけてください。

